



平成26年9月5日
独立行政法人森林総合研究所関西支所

「平成26年度森林総合研究所関西支所公開講演会」開催のご案内

ポイント

- ・森に暮らすシカ、鳥類、クマの動向や問題点を紹介します。
- ・10月17日（金）13時45分から、キャンパスプラザ京都で開催します。

シカの食害で森林が丸裸になった、あるいは山菜を採ってたらクマに遭遇して大怪我・・・こんな事件がしばしば見られます。森の鳥獣たちに何が起きているのでしょうか。

かつて、ニホンジカは絶滅が危惧されるほど数が減り保護政策がとられていました。それがなぜこんなに増えてしまったのでしょうか。また、シカが森林の植物を食べることによって植生が大きく変化しています。木の実を餌とする鳥類の生態に影響はないのでしょうか。一方ツキノワグマは絶滅が危惧されていますが、一方で人里への出現は増えているように思えます。

本講演会では、私たちの最近の研究成果から、ニホンジカ、鳥類、ツキノワグマの生態とその変化、問題点などの話題を提供します。人と野生鳥獣の共生は、単純に答えを出せるテーマではありませんが、多くの方々に考えて頂く材料を提供できればと思います。

貴社におかれましては、本講演会の開催について、紙面、番組等で広くご案内いただくとともに、当日、ご参加いただければ幸いです。

【日 時】2014年10月17日（金）13時45分～16時30分（開場13時15分）

【場 所】キャンパスプラザ京都4F第2講義室

【テ ー マ】森のなか、シカが増えすぎて・・・

【プログラム】

1. 森とシカと人の「これまで」と「これから」
八代田 千鶴（生物多様性研究グループ主任研究員）
2. 森の合唱団のセンター交代
～シカが増え、ヤブが減って、トリが変わる～
関 伸一（生物多様性研究グループ主任研究員）
3. 西日本のクマ、増えてるけど足りないもの
石橋靖幸（チーム長：野生鳥獣類管理担当）

問い合わせ先など

独立行政法人 森林総合研究所 関西支所長 吉永秀一郎
広 報 担 当 者：森林総合研究所関西支所 地域研究監 鳥居厚志
問い合わせ先：森林総合研究所関西支所 連絡調整室長 高橋公子
Tel：075-611-1201（代） Fax：075-611-1207

本資料は、京都府記者クラブに配布しています。